

すべての教育施設の耐震化が完了

～安全・安心な学校に～

□校舎などの耐震化を行う背景は

近年、全国各地で震度6を超える強い地震が発生しており、いつどこで地震が発生するかわからない状態にあるといえます。

学校施設は、多くの児童生徒が一日の大半を過ごす学習、生活の場であるため、その安全性を確保する必要があること、また、地域住民にとって最も身近な公共施設であり、地震などの災害発生時には避難施設としての役割を果たすことが求められます。

このため、町では、学校の校舎や体育館の耐震化事業を重要事業として、計画的に事業を推進し、本年度の出丸小学校屋内体育館耐震補強工事をもって、町内すべての教育施設の耐震化事業（耐震補強工事の不要施設は実施なし。）が完了しました。

□学校施設の状況

町立の小学校6校、中学校2校のうち、現行の*新耐震基準を満たしていない昭和56年以前の旧耐震基準で建築された建物のある学校は、小学校の校舎と体育館ともに5校でした。両中学校は、校舎と体育館ともに新耐震基準により建築された建物です。町立幼稚園は、昭和55年の建築の建物がありますが、「耐震診断」の結果、新耐震基準を満たしています。また、学校給食センターは新耐震基準により設計し、建築された建物です。

耐震化の対象となる町立学校施設の状況

学校名	区分	建築年度	補強の必要性	補強工事年度	備考
中山小学校	校舎	昭和53年度	あり	平成11年度	
	校舎	昭和57年度	新耐震基準設計	—	
	校舎	平成2年度	新耐震基準設計	—	
	体育館	昭和53年度	あり	平成11年度	
伊草小学校	校舎	※平成16、17年度に新耐震基準設計で改築（建て替え）したので補強はありません。			
	体育館	※平成18年度に新耐震基準設計で改築（建て替え）したので補強はありません。			
三保谷小学校	校舎	昭和42年度	あり	平成13年度	
	体育館	昭和54年度	あり	平成13年度	
出丸小学校	校舎	昭和50年度	あり	平成8年度	
	体育館	昭和53年度	あり	平成19年度	予算は、平成18年度
八ッ保小学校	校舎	昭和44年度	あり	平成14年度	予算は、平成13年度
	体育館	昭和55年度	あり	平成14年度	予算は、平成13年度
小見野小学校	校舎	昭和47年度	なし	—	新耐震基準達成
	体育館	昭和56年度	新耐震基準設計	—	
川島中学校	校舎	平成7年度	新耐震基準設計	—	
	体育館	昭和60年度	新耐震基準設計	—	
西中学校	校舎	平成4年度	新耐震基準設計	—	
	体育館	平成4年度	新耐震基準設計	—	
川島幼稚園	校舎	昭和54年度	なし	—	新耐震基準達成
	校舎	平成10年度	新耐震基準設計	—	
学校給食センター	調理場	平成3年度	新耐震基準設計	—	

□耐震化までの工程は

耐震補強工事を行い耐震化が完了するまでには、旧耐震基準で建築された建物の強さを判定する耐震診断を実施し、補強が必要である場合はその補強設計を行い（第三者機関で耐震に対しての補強の有効性を評価しています。）、その後、補強工事の発注実施となります。

中山小学校の耐震補強ブレース（筋交い）



※窓際に設置されたブレース

*新耐震基準とは

大地震の被害経験を踏まえ、従来の設計法に加え、大地震（震度6、7）時に建物の倒壊により人命被害が生じないことを目標として新たに耐震設計基準が定められたもので、昭和56年の建築基準法施行令の改正による基準です。